



DF-050J-V3

設置マニュアル

ご使用前には、必ずこの設置マニュアルを読み、十分理解のうえ正しくご使用下さい。
ご不明な点、ご質問等がある場合は、代理店又は弊社までご連絡ください。
設置マニュアルは、いつも所定の場所に置き、すぐに関覧できるよう大切に保管してください。

もくじ

設置マニュアルは、いつも所定の場所に置き、すぐに関覧できるよう大切に保管してください。

安全上のご注意	……………	P3
- 重要なお知らせ		
設置のための注意事項	……………	P4
- 機械寸法		
- 騒音レベル		
機械設置について	……………	P5
- 機械の運搬と据付工事		
梱包金具の取り外し	……………	P8
スチーム配管工事	……………	P9
エアー配管工事	……………	P11
電気接続工事	……………	P12




設置のために用意していただく部品

- ・M12 アンカーボルト ……3ヶ
- ・1/2B 開閉バルブ ……1ヶ
- ・1/4B 開閉バルブ ……1ヶ

- 専用ブレーカー:5A 程のブレーカーを用意してください。

安全上のご注意

重要なお知らせ

	危険	当該記載事項を守らないと死を招く恐れがあります。
	警告	当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。
	注意	当該記載事項を守らないと作業者の怪我及び機械の重大な損傷に繋がります。

危険

電力供給を機械に接続する際は資格を持った作業者があたってください。
しっかりとアースケーブルを接続してください。

- 当該記載事項を守らないと死を招く恐れがあります。

警告

十分に機械重量に耐えることができる装置をご使用ください。
機械の運搬はクレーン、フォークリフトの有資格者が行ってください。
また、機械を吊り上げる場合は、取扱説明書の記載事項を必ず守ってください。
機械を持ち上げた状態で、機械の下には絶対に立ち入らないでください。
協力的な仕事が必要とされるときは、作業に適している人員を選んでください。
作業者が相互の合意なしで作業を進めないでください。

- 当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。

注意

すべての蒸気接続部分にシールテープを巻いてください。
シールテープ等を巻かなければ、蒸気漏れが発生し、事故の原因になります。

- 当該記載事項を守らないと作業者の怪我及び機械の重大な損傷に繋がります。

当社は、仕様範囲を超えたご使用に関する如何なる損害も保証しかねます事をご了承ください。

設置のための注意事項

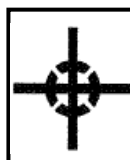
下記の条件を満たすよう、機械設置をおこなってください。

機械が直射日光あるいは雨天にさらされない屋内条件で設置を行ってください。
水平な床への設置を行ってください。

床が水平でない場合、敷き板(スペーサー)で調整を行ってください。

塵やホコリがない環境で設置を行ってください。

重心ポイントに注意して慎重に設置を行ってください。

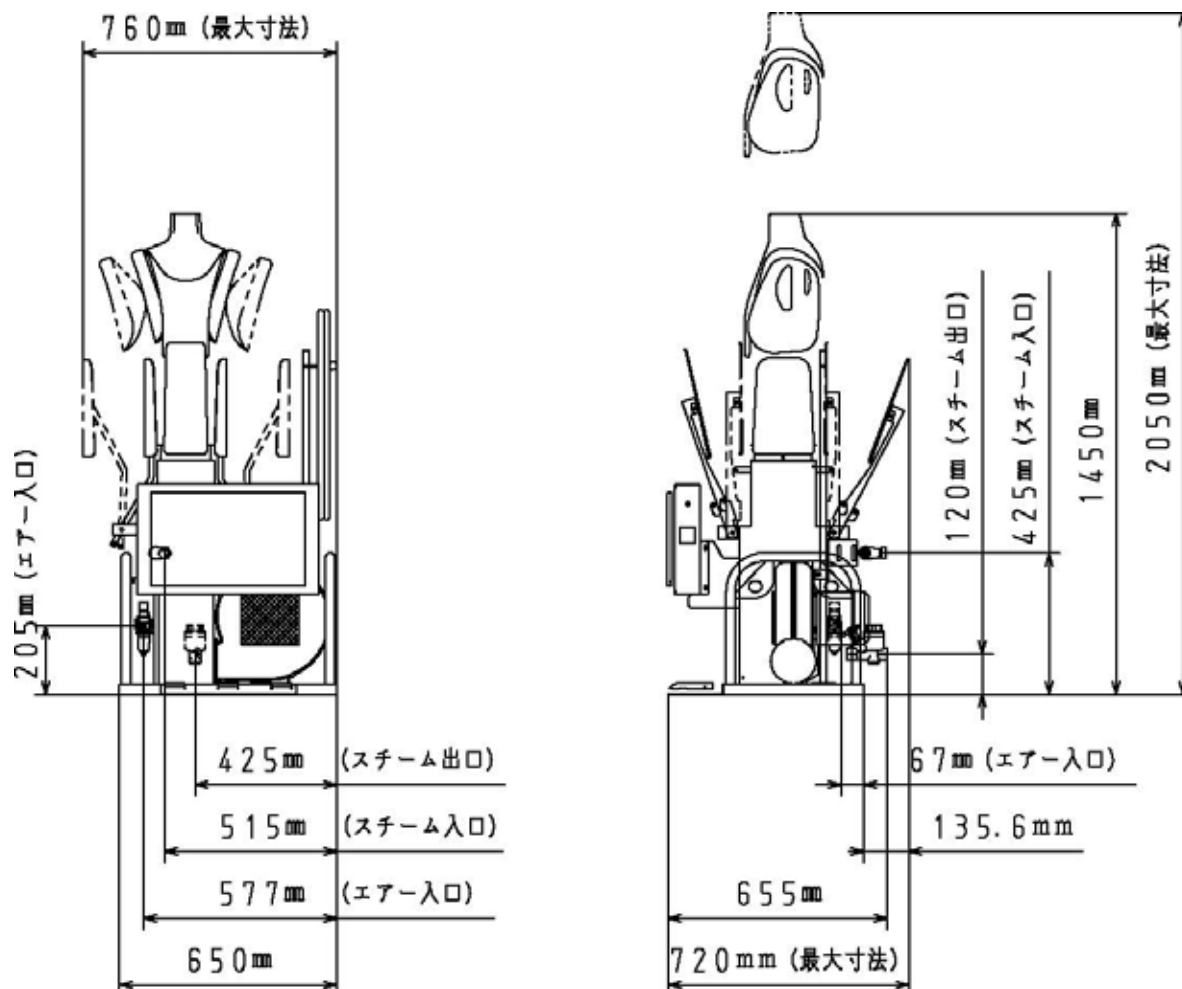


重心ポイント

機械寸法

十分な作業スペースを機械の周りに確保してください。

幅 : 760 mm, 奥行き : 720 mm, 高さ: 2050mm



騒音レベル

連続レベル (A) : 最大 75dB

断続レベル (C) : 最大 78dB

機械設置について

警告

十分に機械重量に耐えることができる装置をご使用ください。
機械の運搬はクレーン、フォークリフトの有資格者が行ってください。
また、機械を吊り上げる場合は、取扱説明書の記載事項を必ず守ってください。
機械を持ち上げた状態で、機械の下には絶対に立ち入らないでください。
協力的な仕事が必要とされるときは、作業に適している人員を選んでください。
作業者が相互の合意なしで作業を進めないでください。
複数の作業で運搬を行う場合は、手による合図、声による合図、旗による合図等で安全を確認して作業を行ってください。

- 当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。

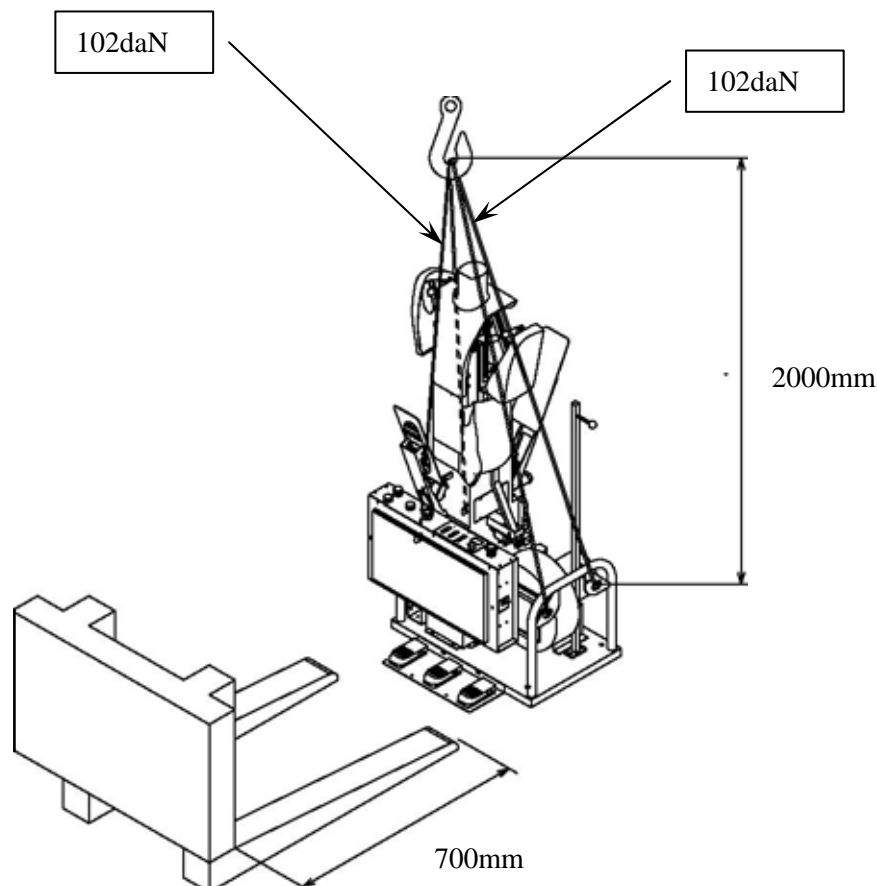
- 1) 機械を持ち上げて設置場所まで移動させてください。

機械重量 980 N(100 kg)

機械は下図の位置で吊ってください。

吊り具は 102daN に耐えられるものをご使用ください。

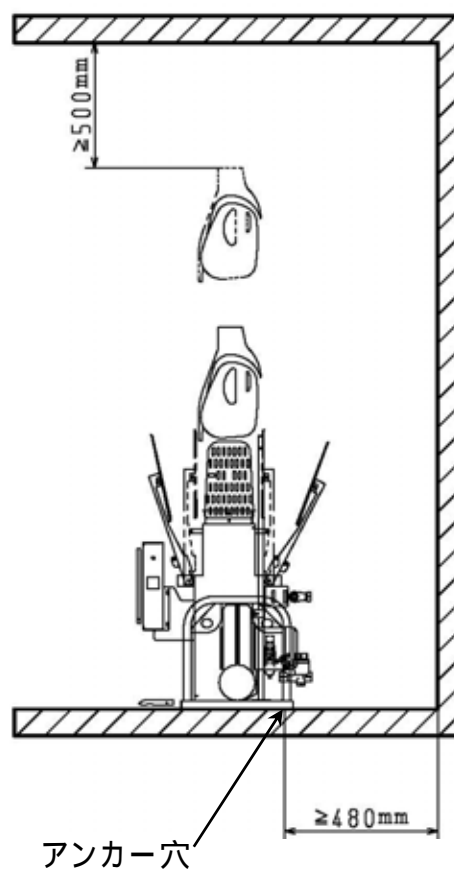
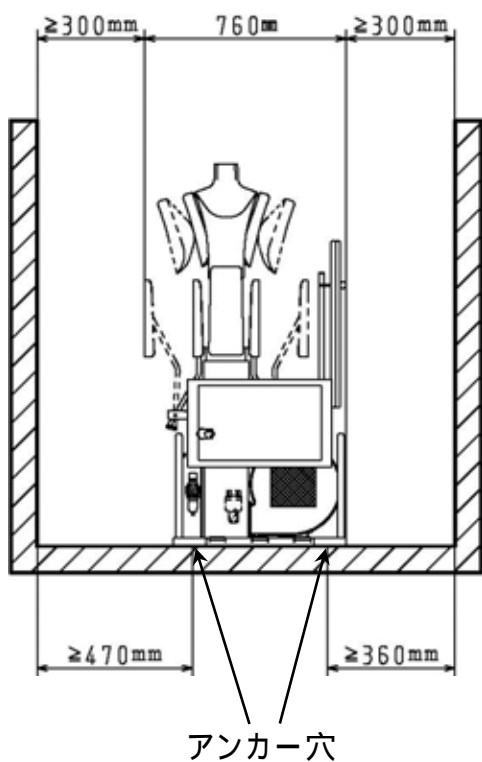
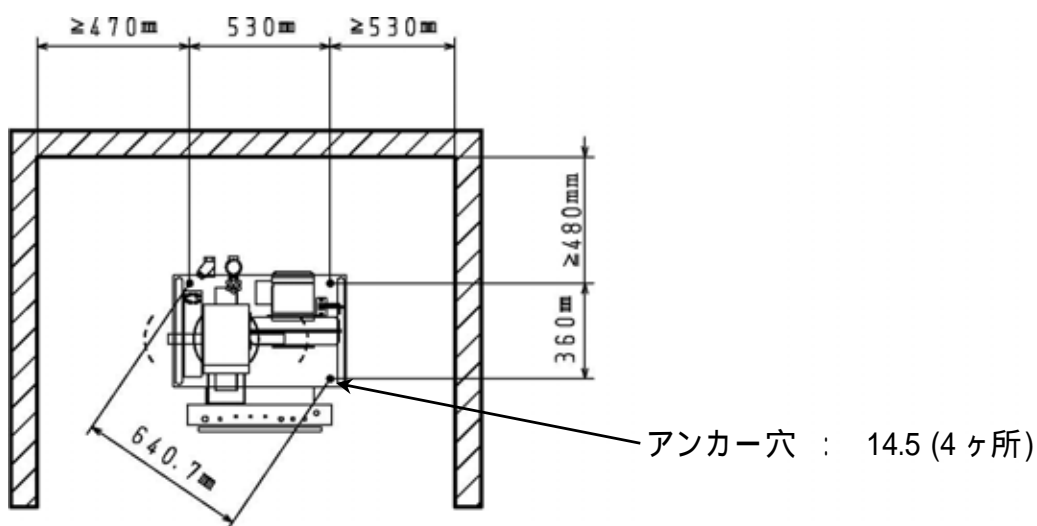
機械を持ち上げるか、あるいは動かす前には、必ず重心位置を再点検してください。



2) 設置には、壁や周辺設備との間に十分な作業スペース、またはメンテナンススペースを配慮してください。

このスペースは、設置管理者によって適正位置に配置してください。

下図に、配慮すべき最小スペースを示します。



3) 機械を床の上に設置してください。

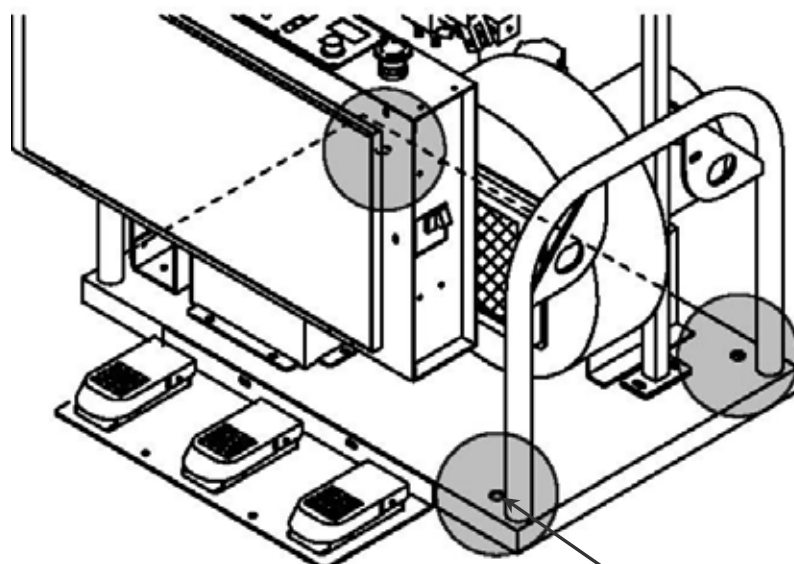
この時、機械に過度のショックを与えないでください。
設置する床は機械の重さに十分耐える構造であることを確認してください。

4) 3箇所の固定用穴を M12 アンカーボルトでしっかりと固定させてください。



警告

固定せずに機械を使用しないでください！

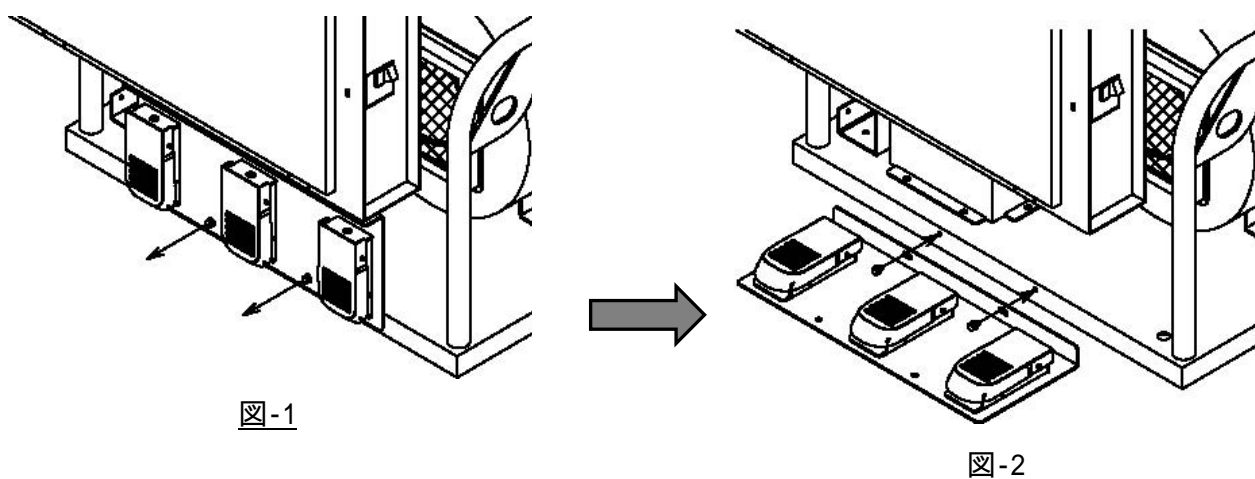


アンカー穴 : 15 (3ヶ所)

付属部品の取り付け

1) フットペダルの設置

フットペダルユニットを梱包位置(図-1)からボルトを緩めて外してください。
外したフットペダルユニットを図-2のように取り付けてください。



⚠ 注意 ・搬送固定用ビニールひもの開梱を忘れないようにしてください。

スチーム配管工事

スチーム消費量	: 12kg/h
スチーム規定圧	: 0.5MPa
スチームパイプ	: 入口 : 1/2B, 出口 : 1/2B

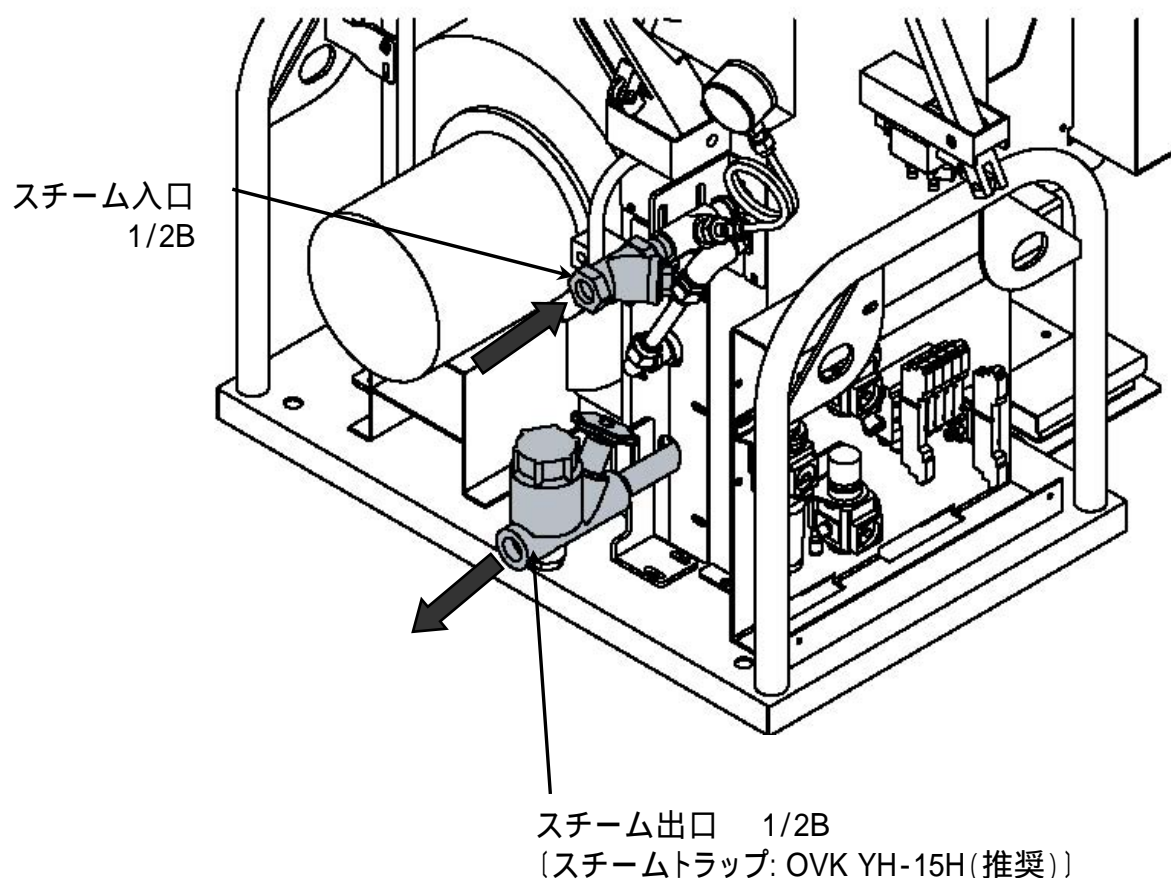
スチーム配管を接続してください。
修理の際、スチームを止められるよう入口側に開閉バルブを取付けてください。
必ずスチームの出口にはスチームトラップを取付けてください。
本機はスチーム消費量 12kg/h ですので、この容量以上のスチームを供給できる環境で
ご使用ください。
配管工事により出た金属粉などが配管内に入らないよう、接続する前に十分にフラッシング
をしてから配管を接続してください。



注意

接続部分には必ずシールテープを巻いてください。

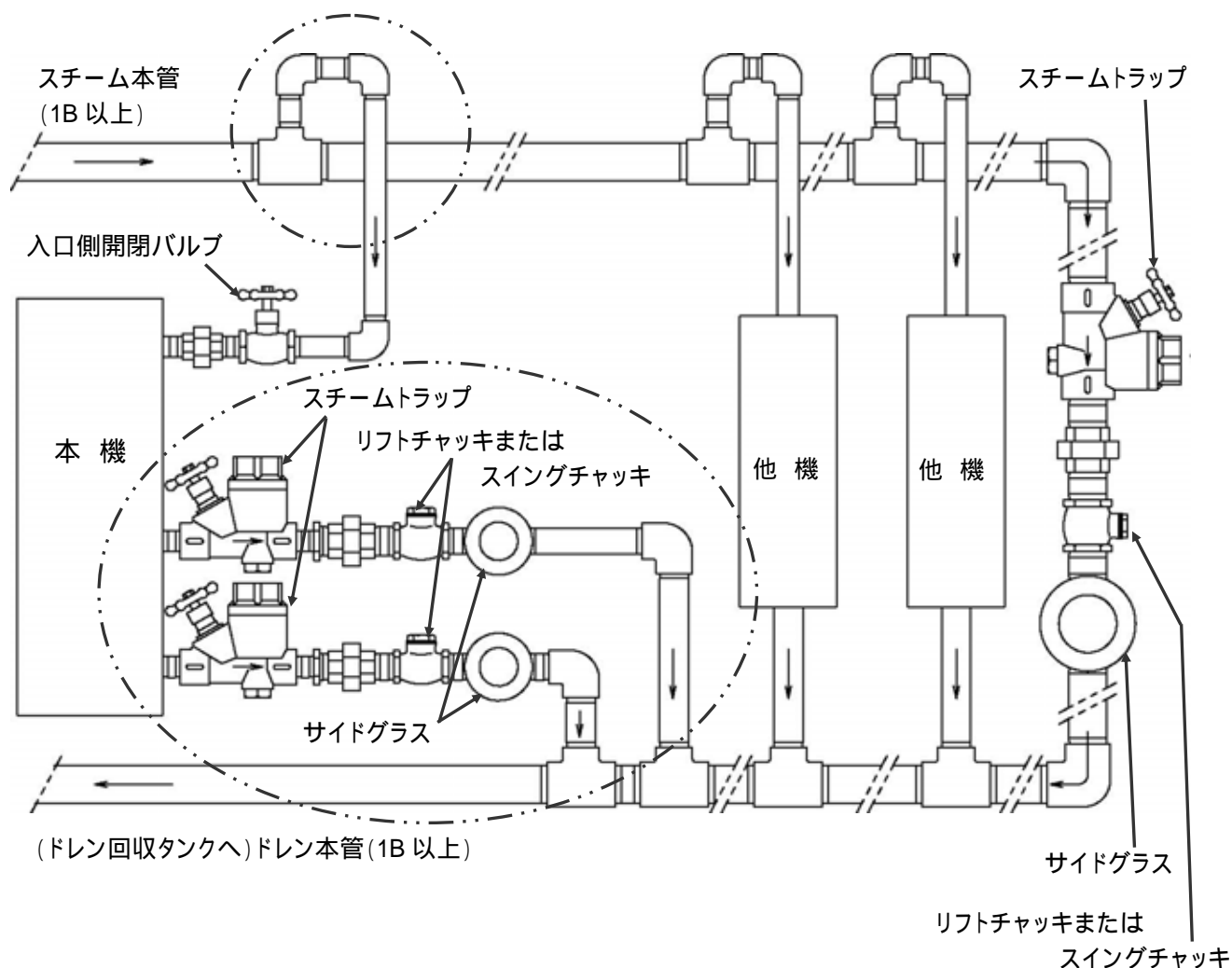
シールテープを巻かなければ、蒸気漏れが発生し、事故の原因になります。



スチーム配管における注意事項

機械にドレンが流れ込まないため、また機械より出たドレンが速やかに排出するために、下図を参照に配管工事を行ってください。

1. 供給側配管は、スチーム本管より立ち上げてから機械に接続してください。(ドレンの流入防止)
2. 機械の排出側(スチーム出口)が複数ある時は、必ず個々にスチームトラップ・リフトチャッキ(上下方向に取付ける時はスイングチャッキ)を取付けてドレン本管まで単独で配管するようにしてください。またサイドグラスを取付けて、ドレンの抜けの状態が確認できるようにしてください。
配管を1本にまとめてから、スチームトラップを取付けるのは避けてください。
3. スチームトラップより後の配管は、スチームトラップの前側より太くして、ドレンの流れを良くしてください。
4. スチーム及びドレンの各本管はできるだけ太くして(1B以上)、流れ方向に勾配をつけてドレンが流れやすいようにしてください。



エア配管工事

エア消費量 : 300 /h
エア規定圧 : 0.5MPa
エア配管径 : 1/4B

エア配管を接続して下さい。

修理の際にエアを止められるように開閉バルブを取付けてください。

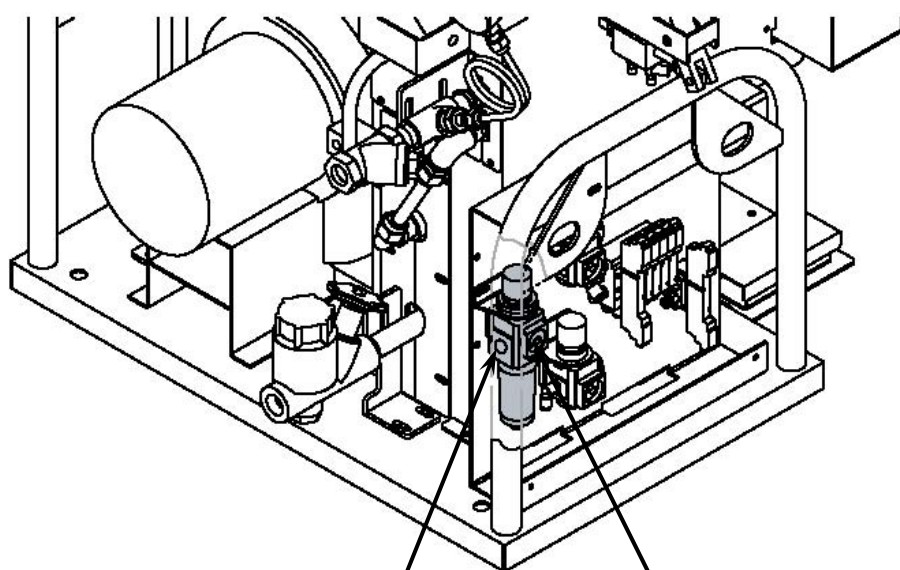
エアチューブを用いて配管する場合はチューブ径が 12mm以上のものをご使用下さい。

エア圧力 0.5MPa で安定した清浄なエアをご使用ください。

多量のドレンや、化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、塩分、腐食性ガス等を含む圧縮空気は、空圧機器の作動不良の原因となります。

本機はエア消費量 300 /h ですので、この容量以上のエアを供給できる環境で
ご使用ください。

配管工事により出た金属粉などが配管内に入らないよう、十分にフラッシングし配管を
接続してください。



エア入口
1/4B

0.5MPa に設定

電気接続工事

電力： 三相 200V 0.45kW (2.9A)

電源ケーブル： 電力線 (3 pcs) + アース線 (1pcs)

VCTF 4 芯 × 2.0S 5m (付属)

定格電流及び設定に関する選定に必要なデータ： GV2-ME08 2.5 4A (2.9A)


接地抵抗は 100 以下とすること。



電力供給を機械に接続する際は資格を持った人が作業にあってください。
しっかりとアースケーブルを接続してください。

当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。

次の手順で接続作業を行ってください。

- 1) アースケーブルを緑の線又は  マークへ接続してください。
- 2) 電源ケーブルをブレーカーの出力端子と接続してください。
- 3) 電気配線工事が終了したら、電気を投入しモーターの回転方向を確認してください。

